

| | |
|---------|---|
| 氏名 | 内 田 玄 祥 |
| 授与した学位 | 博 士 |
| 専攻分野の名称 | 医 学 |
| 学位授与番号 | 博甲第 2585号 |
| 学位授与の日付 | 平成15年3月31日 |
| 学位授与の要件 | 医学研究科社会医学系衛生学専攻 (学位規則第4条第1項該当) |
| 学位論文題目 | 高度先端医療技術の導入と都道府県別の虚血性心疾患における致命率の関連性～死亡／患者比を用いた地域相関分析～ |
| 論文審査委員 | 教授 大江 透 教授 吉良 尚平 教授 太田 吉夫 |

学位論文内容の要旨

緒言:本研究では、47 都道府県の高度先端医療技術を含む医療資源と、死亡／患者比によって測定された虚血性心疾患の致命率の間の地域相関分析を行うことを目的とした。

対象と方法:虚血性心疾患について、男女別の年齢調整済み死亡／患者比を平成11年度人口動態統計および患者調査に基づき都道府県ごとに計算した。高度先端医療技術を含む医療資源に係る28の指標を選び計算した。医療資源指標と虚血性心疾患の死亡／患者比とのピアソン相関係数を都道府県を単位として計算した。

結果:男女ともに経皮的冠動脈形成術(PTCA)の実施施設数が死亡／患者比と有意な負の相関を示した($p<0.05$)。男性において血管連続撮影装置などの高度先端医療技術を有する病院数と死亡／患者比との間で有意な負の相関が認められた($p<0.01$)。

考察:PTCA およびその他の高度先端医療技術を実施する施設数が虚血性心疾患の死亡／患者比の地域差を説明する可能性がある。これはおそらくよりよい救急医療のためと思われる。

論文審査結果の要旨

本研究は、虚血性心疾患の致命率と医療資源との相関を地域別の分析したものであるが、従来十分確立されていなかった高度先端医療技術を有する病院数と死亡／患者比に有意な相関が認められることを証明し、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。